

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	消防総務課長 高木 守		
消防-02	実施事業	消防施設管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	消防総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実	

1 事業の目的

対象	消防職員等
意図	庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保するとともに、災害時の拠点として活用できるよう機能を維持するため。
効果	災害時の拠点となる消防庁舎の機能を維持することができる。

2 平成29年度に実施した事業の概要

・各署所の修繕、保守点検等消防庁舎の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,869人	176,466人		人口	176,308人	
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯	81,763世帯		
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	16,064	18,508	当初予算(千円)	19,668			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	16,064	18,508	一般財源	19,668			
	人員配置数	1.0	1	人員配置数	1.0			
事業経費運営	人件費(千円)	7,823	7,850	人件費(千円)	8,091			
	総事業費(千円)	23,887	26,358	総事業費(千円)	27,759			
	市民1人当りの経費(円)	135	149	市民1人当りの経費(円)	157			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	予算規模を拡大し消防の活動拠点を計画的に改修・修繕したいところではあるが、限られた予算内で、優先順位を付け将来を見据えた事業を展開していく必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	消防の活動拠点となる消防庁舎は、職員の待機場所を含め車両や資機材の収納を考えなければならないので、それらを十分に活用できるように必要な箇所の維持管理を図っていかなければならない。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	老朽化が著しい消防庁舎の維持管理について、適切な修繕補修を行い諸課題を整理する。							
課題解決のために行った平成29年度の取組	限られた財源を適正に執行するため、各施設の破損状況等を把握し、優先順位をつけ修繕を実施した。							<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	修繕未実施の施設に対する維持管理方法							

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	消防施設の管理						単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
消防庁舎の修繕を行い、地域の防災拠点としての機能を維持していく。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	実績値	50.0	80.0	80.0	80.0				
	達成率	50.0%	80.0%	80.0%	80.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	今後の公共施設再編等を勘案し、効率的な庁舎修繕を実施し、防災拠点としての機能を維持して行く必要がある。							
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--